

アカカワイノシシの扁平上皮癌の1例

○野村 美佳, 東野 晃典, 田中 宗平, 小林 悠子
(よこはま動物園)

アカカワイノシシの舌に扁平上皮癌を認めため報告する。扁平上皮癌は、一般的に皮膚や粘膜に発生する悪性腫瘍である。アカカワイノシシでは報告はなく、豚でも稀である。よこはま動物園では過去にニホンザル、セスジキノボリカンガルーなど7種8頭で認められている。扁平上皮癌は悪性腫瘍であるため外科的切除による完全切除が唯一の根本治療となる。今回の症例では、根本治療を目指し、外科的に腫瘍の切除を試みた。腫瘍は、舌根部～舌体部にかけて15cm大の腫瘤でありマージンを含めると舌の3/4程度を切除する結果となった。術後、行動観察上疼痛等の影響はないように思われた。しかしながら採餌行動に関しては舌切除の影響で嚥下できず採食できない状態が継続し、舌の切除に伴う影響を補う等の採食行動の変化がみられなかった。そのため、一般状態に問題はないが、採食ができずこのまま衰弱していくことが予測された。また術中に採材した検体による病理組織検査では腫瘍組織を取り切れていない可能性が示唆されていた。